



お母様方の心のこもったたくさんのご感想、本当にありがとうございました。今井先生から頂いた言葉の中で心に響いた大切なワードを改めてお伝えします。

それは正に「お母さん」ですね。

♡「子どもにとって一番信頼をおける人の笑顔こそ子どもの脳の発達を促す」

♡「人生で一番大切な時間は夕食の時間」
家族で言葉を、笑顔を交すそのひと時ですね

♡「親の責任とは、生きていることは素晴らしいと教えること」

♡「親は子の鏡、子は親の鏡、笑顔、笑顔、笑顔」

二度と戻って来ない今の幼児期、子どもと共に過ごせる一分一秒に手を合わせて、穏やかな時を共有出来るよう、親である私達から、愛、ていかなくしては！ですね。



困みに... 頂いたご感想の中にもありました

「子どもにとってうれしい人」とは、日本のフレーベルともいわれています。児童心理学者である倉橋惣三の著書「育ての心」の中にある一文です。

(存) 自ら育つものを育てようとする心。それが育ての心である。世の中にこんな楽しい心があろうか。それは明るい世界である。温かい世界である。育つものと育てるものとが互いの結びつきに於て相樂しんでいる心である。一中略一 育ての心は相手を育てるばかりではない。それによって自分も育てられてゆくのである。我が子を育てて自ら育つ親、子等の心を育てて自らの心も育つ教育者。育ての心は子どものためばかりではない。親と教育者とを育てる心である。

(子どもの中にいて、ひきつけられて)

子どもがいたずらをしている。その一生懸命さにひきつけられて止めるのを忘れている人。気がついて止めてみたが、またすぐに始めた。そんなに面白いのか、なるほど、子どもとしてはさぞ面白かろうと、識らず識らず引きつけられて、ほほえみながら、叱るのを忘れている人。

実際的には直ぐに止めなければ困る。教育的には素より叱らなければためにならぬ。しかも、それよりも先ず、取り敢えず、子どもの今、その今の心もちに引きつけられる人である。



それだけでは教育になるまい。しかし教育の前に、

先ず子どもに引きつけられてこそ、子どもへ即くというものである。

子どもにとってうれしい人とは、こういう人 をいうのであろう。一中略一

子どもから好かれる、尊敬される、喜ばれるといったことが一番重要なんじゃないだろうかと思います。子どもは「あんなふうになりたい」と憧れを持っては言われなくても一生懸命努力しますし、大好きな人が言うことや教えてくれる事は、しっかりと心に刻んでいくものだと思います。子どもにかかわる大人は何より、「子どもにとってうれしい人」でありたいと思います。

長文にあつきあい頂き、ありがとうございました。倉橋惣三先生は、他にも多数著書があります。よろしかったら紐解いてみて下さい！何か忘れかけている大切な心を取り戻せるような、ホッと心が温かくなるような、そんな世界が待っていますよ。